

●魅力的な項目が充実した改訂版

改訂版では、日本との関係が密接な東アジアに関するテーマを増設しました。また現行の特集ページ「世界と日本」に代わり、日本史に関するコラムを新設、各テーマの関連する場所に設けました。さらに本文に関連した歴史コラムを新設し、生徒の興味をひく内容を一層充実させました。

●図版527点、地図118点

現行版よりさらに充実させました。

●その他の改訂ポイント

- ・ユネスコの世界文化遺産に登録されている物件に遺産マークを入れました。
- ・授業で指示しやすいよう、図版に番号をふりました。
- ・「読み解き」として、図版の内容に注目し考察させる問いかけを適宜設けました。
- ・キーパーソンを現行の34名から79名に増やしました。
- ・「viewpoint」を現行の9テーマから15テーマに増やしました。

表は改訂版の構成による ※青ゴシック体は新設した箇所

ページ	テーマ番号	そのころ日本は・コラム・読み解き	キーパーソン	改訂のポイント	
見返し裏1		世界史を学ぶみなさんへ			
2-3		目次			
4-5		本書のテーマ構成		年表形式に改め、全体の構成が理解しやすいようにしました。	
6-7	世界史へのいざない①	自然環境と歴史			
8-9	世界史へのいざない②	日本列島のなかの世界史		小見出し「生糸をはこぶ山手線」に富岡製糸場の記述と写真を追加し、記述に合わせて地図を改めました。	
10-11	序	人類の歴史の始まり			
12-13	第1部 世界の一体化と日本 第1章 世界の諸文明	東アジア世界（風土と人々）			
14-15		1 東アジア世界Ⅰ	そのころ日本は：光武帝と金印	始皇帝、司馬遷	
16-17		2 東アジア世界Ⅱ	そのころ日本は：遣唐使とその後	則天武后	
18-19	viewpoint①	儒教・仏教・道教			
20-21		3 東アジア世界Ⅲ	そのころ日本は：平氏と宋銭 読み解き：「清明上河図」	朱熹（朱子）、 チンギス=ハン	「東アジア世界」は1テーマ増設し、計3テーマにいたしました。それに伴い、Ⅰ・Ⅱの記述を書き改めました。
22-23	viewpoint②	モンゴル時代のユーラシア（13～14世紀の世界）	そのころ日本は：元寇と日元貿易		
24-25		南アジア世界・東南アジア世界（風土と人々）			
26-27		4 南アジア世界	コラム：インドの数学 読み解き：ガンダーラ仏	ガウタマ=シッ ダールタ（釈迦）	
28-29		5 東南アジア世界		チャンパーの用語を追加しました。	
30-31	viewpoint③	ヒンドゥー教			
32-33		西アジア世界（風土と人々）		カナートの図を追加しました。	
34-35		6 西アジア世界Ⅰ	コラム：「十戒」	ハンムラビ王	
36-37		7 西アジア世界Ⅱ		ムハンマド	アッバース朝についての記述を追加しました。
38-39		8 西アジア世界Ⅲ		ティムール、 サラディン	「西アジア世界」は1テーマ増設し、計3テーマにいたしました。
40-41	viewpoint④	イスラーム教		スーフイズムについての記述を追加しました。イェルサレム旧市街の写真と地図を追加しました。	
42-43		ヨーロッパ世界（風土と人々）			
44-45		9 古代地中海世界	コラム：ローマ市民権	アレクサンドロス、 イエス	
46-47		10 ヨーロッパ世界Ⅰ		カール大帝	ビザンツ帝国についての記述を詳しくしました。
48-49		11 ヨーロッパ世界Ⅱ		ハインリヒ4世	皇帝と教皇の勢力図は、正確に示すことが難しいため削除しました。 封建社会の構造図は、正確に示すことが難しいため削除しました。
50-51	viewpoint⑤	キリスト教			
52		アメリカ大陸（風土と人々）			
53		アフリカ大陸（風土と人々）			
54-55	第2章 世界の一体化の始まり	12 16世紀の世界と一体化の始まり	そのころ日本は：倭寇と鉄砲		
56-57		13 明代の東アジア	そのころ日本は：勘合貿易（日明貿易）	洪武帝、鄭和	小見出し「隣接諸国の動向」に室町幕府や豊臣秀吉の記述を追加しました。
58-59		14 清代の東アジア		康熙帝、マテオ=リッチ、徐光啓	全体的に、より分かりやすい記述になるよう手を入れました。
60-61		15 サファヴィー朝とムガル朝	読み解き：タージ=マハルと王のモスク	アッバース1世、 アクバル	サファヴィー朝とムガル朝を比較して理解できるよう、記述を全面的に改めました。
62-63		16 オスマン帝国		スレイマン1世	
64-65	viewpoint⑥	アジアの繁栄（16～18世紀）			日本についての記述を追加しました。
66-67		17 大航海とアメリカ征服	読み解き：コロンブスと先住民	ヴァスコ=ダ=ガ マ	マゼランについての記述を追加しました。 コルテス・ピサロ・ラス=カサスの用語を追加しました。
68-69		18 新しい時代の始まりとルネサンス		マキアヴェリ	
70-71	viewpoint⑦	花ひらくルネサンス			それぞれ小見出しを立て、リード文を追加しました。
72-73		19 宗教改革	読み解き：贖宥状の販売 コラム：宗教改革と活版印刷		
74-75		20 スペインの時代からオランダの時代へ		フェリペ2世	
76-77	viewpoint⑧	危機の時代（17世紀）	読み解き：ケープタウンの稜堡式要塞 コラム：東インド会社（オランダ・イギリス・フランス） そのころ日本は：「鎖国」と四つの口		
78-79		21 絶対王政と議会王政		ルイ14世、 ニュートン	チャールズ2世・ジェームズ2世の記述を追加しました。
80-81		22 東ヨーロッパの専制	コラム：サンクト=ペテルブルクと ピョートル1世	マリア=テレジア	啓蒙専制君主についての記述を追加しました。 シュラフタ（貴族）の用語を追加しました。
82-83		23 大西洋経済	コラム：コーヒーハウスとエドワード=ロイド		
84-85	viewpoint⑨	茶の文化と世界経済	コラム：カントン貿易 読み解き：19世紀初頭の広州のファクトリー		

86-87	第3章 近代の世界	24	啓蒙とアメリカ独立	コラム：星条旗	フランクリン	
88-89		25	フランス革命		ロベスピエール	ルイ16世の図版を追加しました。
90-91		26	ナポレオンとその帝国	読み解き：ナポレオンの戴冠式	ナポレオン	
92-93		27	イギリス産業革命		ワット	
94-95		28	ウィーン体制と自由主義改革		マルクス	メッテルニヒの図版を追加しました。
96-97		29	1848年革命とイギリス・フランス	読み解き：ロンドン万国博覧会	ヴィクトリア女王	ラマルティエス・コシュートの図版を追加しました。
98-99		30	クリミア戦争とオーストリア・ロシア		ナイティンゲール	アレクサンドル2世の用語と図版を追加しました。キーパーソン「ナイティンゲール」の記述を改めました。
100-101		31	イタリアの統一とドイツの統一		ヴァーグナー	ヴィルヘルム1世の用語と図版を追加しました。
102-103		32	アメリカ合衆国の発展とカナダ		リンカン	
104-105		33	ラテンアメリカと世界資本主義		トウサン=ルヴェル チュール、 ボリバル	モンローの図版を追加しました。
106-107	viewpoint⑩		19世紀欧米の文化			コッホ・キュリー夫妻の図版を追加しました。
108-109		34	19世紀の西アジア		ウラービー	ムハンマド=アリー <small>の</small> 図版を追加しました。
110-111		35	南アジア・東南アジアの植民地化	コラム：インド大反乱（シバーヒーの反乱）	ラクシュミー=バリー	チュラロンコンの用語を追加しました。
112-113		36	東アジアの開港と変動	そのころ日本は：アヘン戦争の情報伝達	林則徐	アヘン戦争から中国分割までを、1テーマ増設し2テーマで叙述しました。また明治日本の記述を追加しました。そのため全体的に書き改めました。
114-115		37	東アジアの近代化の試み		李鴻章、伊藤博文	
116-117	viewpoint⑪		交通と通信の革命			
118-119	第2部 地球社会と日本 第1章 現代の始まりと帝国主義	38	資本主義社会の成熟		ベルンシュタイン	現行版の「第1章 急変する人類社会」と「第2章 帝国主義時代」を1つの章に統合しました。現行版の2テーマ「資本主義社会の成熟」「国民統合のさまざまな試み」を1テーマに統合しました。そのため全体的に書き改めました。
120-121	viewpoint⑫		大衆社会と科学技術			
122-123		39	世界分割と一体化の進展		セシル=ローズ	現行版の中国分割の記述を新テーマ37に移しました。その分、植民地の拡大と帝国主義に関する記述を詳しくしました。
124-125		40	帝国主義の国際対立		ヴィルヘルム2世	国際関係の図中、各国をなるべく地理的な位置に基づいて配置し、より分かりやすくしました。内村鑑三の図版を追加しました。
126-127		41	植民地・従属国での民衆の抵抗	コラム：「ミカド=ナーメ」	アフガーニー	小見出し「自立への胎動」の冒頭では、植民地化された地域を具体的に記述しました。地図「アフリカ・西アジア・南アジアのおもな抵抗運動」を追加しました。
128-129		42	日露戦争と韓国併合	コラム：日露戦争の実状	安重根	
130-131		43	辛亥革命		孫文、袁世凱	
132-133	第2章 二つの世界大戦	44	第一次世界大戦		フランツ=フェルディナント夫妻	ボスニア・ヘルツェゴヴィナについての記述を追加しました。小見出し「総力戦」の冒頭に、これまでの戦争の性格について説明を加えました。
134-135		45	ロシア革命		レーニン	キーパーソン「レーニン」の記述を、より生徒の興味をひく内容に改めました。小見出し「戦時共産主義からネップへ」の記述を、より丁寧な説明にいたしました。
136-137		46	ヴェルサイユ体制とワシントン体制	読み解き：ヴェルサイユ条約の調印	ウィルソン	
138-139		47	1920年代のアメリカとヨーロッパ		スターリン	ヴァイマル憲法の用語を追加しました。
140-141	viewpoint⑬		技術と戦争			「コンピュータとインターネット」の項目を追加しました。
142-143		48	アジア諸地域の抵抗と独立	コラム：パールをつけるか、つけないか	ガンディー	
144-145		49	東アジアの民族運動	コラム：中国の工業化と日本	魯迅	日本の山東出兵、済南事件の用語を追加しました。毛沢東と中華ソビエトの記述は、新テーマ53に移動しました。
146-147		50	世界恐慌		フランクリン=ローズヴェルト	フーヴァーの図版を追加しました。
148-149		51	ファシズムの台頭		ヒトラー	ムッソリーニの図版を追加しました。イタリアについての記述を追加しました。キーパーソン「ヒトラー」の記述を、より生徒の興味をひく内容に改めました。現行版の満州事変に関する記述は新テーマ53に移動しました。
150-151		52	第二次世界大戦前夜の世界	コラム：ミュンヘン会談と宥和政策 読み解き：ミュンヘン会談の風刺画	フランコ	現行版の日中戦争に関する記述は新テーマ53に移動しました。
152-153		53	満州事変と日中戦争	コラム：満州国	蒋介石	現行版ではヨーロッパの記述と一緒だった満州事変と日中戦争を、テーマを増設してまとめました。
154-155		54	第二次世界大戦Ⅰ		チャーチル	現行版小見出し「イデオロギーの戦い」を「世界観をめぐる戦い」に改めました。また、記述をより丁寧にいたしました。
156-157		55	第二次世界大戦Ⅱ		トルーマン	トルーマン大統領の用語を追加しました。現行版では「世界と日本⑥」にあった戦後日本の記述を、本テーマに移しました。
158-159	第3章 平和と冷戦	56	冷戦の開始		毛沢東	
160-161		57	冷戦の激化と核戦争の危機	コラム：核の恐怖と映画	ケネディ	現行版では「世界と日本⑥」にあったサンフランシスコ講和会議の記述を本テーマに移しました。
162-163		58	第三世界の出現		ネルー、カストロ	
164-165	第4章 現代世界と日本	59	米・ソの動揺と多極化する世界		キング牧師、 ブレジネフ	
166-167		60	冷戦の終結		レーガン、 ゴルバチョフ	
168-169		61	グローバル化とアメリカ		オバマ	ラテンアメリカの記述を民主化中心に改めました。アジェンダの図版を追加しました。
170-171		62	EUの拡充とロシア、アフリカ		マンデラ	
172-173		63	中東情勢とイスラーム主義運動		ホメイニ、ウサーマ=ビン=ラーディン	アラブの春についての記述を追加しました。
174-175		64	アジアの経済発展		朴正熙、スハルト	現行版のテーマ「アジアの経済発展」を中国とそれ以外に分け、1テーマ増設しました。そのため全体的に書き改めました。
176-177		65	中国の台頭と多極化	コラム：日中関係	鄧小平	
178-179	viewpoint⑭		ジェンダーをめぐる変化			
180-181		66	地球社会の今後と私たち			BRICSやG20に関する記述は新テーマ65に移し、全面的に書き改めました。
182-183	viewpoint⑮		現代の宗教			
184-185	主題学習 持続可能な社会への展望		身近なモノから地球環境・地域紛争・情報社会を考えてみよう			